

世界報道写真展 2016 公開記念講演会

戦争の記憶の継承と写真の役割

エリック・ソーメルズ博士

オランダ戦争・ホロコースト・大虐殺研究所研究員

"How to Convey War Memory to Future Generations: Roles of Photographs"

Dr. Erik Somers (the NIOD, Netherlands Institute for War,
Holocaust and Genocide Studies, Researcher/ Program Manager)

戦争体験者が亡くなる中、博物館においてどのような内容と方法で展示をしていくのかを考えることがいま必要とされています。戦争の記憶を継承していく上で写真が果たす役割とは何か。アムステルダムにあるオランダ戦争・ホロコースト・大虐殺研究所における歴史研究者エリック・ソーメルズ博士を迎え、「過去」の視覚化を可能にする写真の役割に焦点を当てて講演いただきます。

2016

6 / 10 **FRI** 16 : 30 - 18 : 30

会場：国際平和ミュージアム 2F 会議室
＊申込不要、聴講無料、通訳あり
主催：立命館大学国際平和ミュージアム



オランダ戦争・ホロコースト・大虐殺研究所
the NIOD, Netherlands Institute for War,
Holocaust and Genocide Studies

エリック・ソーメルズ博士：第二次世界大戦の歴史や記憶に関する著書がある。様々な博物館において第二次世界大戦の歴史についての展示企画を担当。

Dr. Erik Somers: Author of several publications relating to the history of World War2, representation and culture of memory. Designed several presentations for various museums about the history of the Second World War and its aftermath, and was curator of several temporary (international) exhibitions.

